

防災の取組

① 災害時帰宅支援ステーションとしての学校の役割

東日本大震災の際、本校は帰宅支援ステーションとして、帰宅途中で保護を必要とする方々に水や、トイレ、休息の場、沿道の情報を提供した。今後も、心配される首都直下地震発生等災害時には、帰宅困難者を一時的に受け入れる施設として、本校はその役割を担っていく。

② 日常の防災の取組について

平成24年度から令和元年度まで実施した宿泊を伴う防災体験活動では、救出救護訓練など6つの防災訓練や防災講座及び非常食体験・宿泊体験を行ってきた。令和3年度からは、年4回行う避難訓練・防災訓練を通して、生徒に災害発生時における「自助」の能力と「共助」の精神を育んでいく。

また、生徒会を中心に防災支援隊を有志生徒で組織し、地域連携として地区防災会と合同でスタンドパイプによる放水訓練や防災倉庫の備蓄品の確認と整理を行っている。